

目 次

本講座の刊行にあたって

はしがき

執筆者紹介

第 I 部

プラットフォームの設計，規範そして秩序

第 1 章 プラットフォームの権力構造とそのガバナンス

[成原 慧] 2

1. はじめに 2

2. プラットフォームをめぐる概念の整理 2

プラットフォームの定義／プラットフォームとプラットフォーム事業者／デジタルプラットフォームと非デジタルプラットフォーム／取引型プラットフォームと非取引型プラットフォーム／メガプラットフォームとそれ以外の多様なプラットフォーム

3. プラットフォームという場の権力構造 6

新たな統治者としてのデジタルプラットフォーム？／プラットフォーム事業者という権力／プラットフォームという場における権力の相互作用

4. プラットフォーム事業者の多様な役割 10

情報流通の媒介者としてのプラットフォーム事業者／データの集積者としてのプラットフォーム事業者／アーキテクチャの設計者としてのプラットフォーム事業者／その他の役割

5. 新旧の統治者たちの関係：国家とプラットフォーム事業者 13

リヴァイアサンとビヒモス／国家とプラットフォーム事業者の関係／国家がプラットフォーム事業者を規制の代理人として用いる場面／国家がプ

プラットフォーム事業者の自律性を尊重してプラットフォーム事業者の自主規制に委ねる場面／国家がプラットフォーム事業者を規制して権利・自由を守る場面／プラットフォーム事業者が国家に対抗して権利・自由を守る場面／国家とプラットフォーム事業者が協調して権利・自由を保護する場面

6. コンテンツモデレーションをめぐる闘争 20

コンテンツモデレーションと私的検閲／コンテンツモデレーションに対する規制と表現の自由の両義性／国家によるプラットフォーム事業者の規制を通じた利用者の自由の確保／プラットフォームはメディアかコミュニケーションか／プラットフォームの設計と民事責任：媒介者責任から設計者責任へ

7. プラットフォームガバナンスのモデル 30

権利の時代から公衆衛生の時代へ／手続モデル／手続の設計において避けられない実体的価値の選択

8. メタガバナンスの構築に向けて 33

デジタル帝国たち／TikTokをめぐる闘争／デジタル主権とその限界／デジタル立憲主義／翻訳の不確定性と動態的な規範形成／メタガバナンスの枠組み

9. おわりに 43

第2章 プラットフォームにおける競争とプラットフォームをめぐる競争 ——競争法・経済秩序の視点から——

[市川芳治] 44

1. はじめに 44

2. プラットフォームに関する競争とは 45

検討の端緒：デジタル経済の「エコシステム」事例／検討視点の拡大？

3. 検討対象の識別タイミング：市場画定の作業から 53

新規対応必要説／伝統理論対応可能説／今後の展望：エンフォースメント、目的論

4. 背景にある経済秩序観の具現化タイミング：問題解消措置 63

5. 経済秩序を踏まえた動的対応の必要性 66

公企業論：あるいは、行動的問題解消措置／デジタル立憲主義：新たな社会契約論？

6. おわりに 71

第3章 プラットフォームにおけるコンテンツの「取引」と「所有」

[酒井麻千子] 74

1. はじめに 74

2. 有体物からデジタルへ 77

有体物のヴェールがもたらすコンテンツの「取引」と「所有」／ヴェールを脱いだコンテンツの「取引」の変化と「所有」

3. デジタルコンテンツ配信プラットフォームの構造設計 78

経済的構造：コンテンツ取引市場の形成／技術的構造：複製・視聴制限技術の採用／法的構造：利用規約を通じた設計

4. 構造設計から生じる課題と「所有」感覚の変化？ 88

プラットフォームの構造設計がもたらすユーザーの享受への影響／デジタルコンテンツの「所有」感覚？

5. NFTの登場と「所有」「取引」の設計 92

NFTのコンテンツ流通への活用／NFTの法的性質／NFTを通じたデジタルコンテンツの「所有」と「取引」の可能性

6. おわりに 97

第Ⅱ部

プラットフォーム事業者と関係する主体の役割と責任

第4章 プラットフォーム事業者の忠実義務とデータ・ガバナンス

[斉藤邦史] 102

1. はじめに 102

2. 「個人コントロールモデル」と「社会構造モデル」 103

「個人コントロールモデル」の破綻／「社会構造モデル」と情報受認者の理論

3. 情報受認者の理論と忠実義務 104

情報受認者の理論／忠実義務の内容／データ保護法案における忠実義務／
検 討

4. データ・ガバナンスとプラットフォーム事業者 109

所有権的改革と尊厳的改革／データ・ガバナンスの関係の理論／検 討

5. 構成的ガバナンス・モデル 115

原子論的ガバナンスと協調的ガバナンスの限界／新しいガバナンスモデル

6. 日本法への示唆 117

データ・ガバナンスと憲法上の基本権／プラットフォーム事業者の社会的役
割と作為義務／公正競争と消費者保護の交錯／データ保護に関する団体訴訟

7. おわりに 129

第5章 リスク管理主体としてのプラットフォーム事業者

[永石尚也] 131

1. はじめに 偽・誤情報リスクとその管理 131

偽・誤情報と有害情報／問題の所在

2. 制度的対応とモデル選択 138

偽・誤情報への制度的対応状況：二層モデル／偽・誤情報リスクの SIR モ
デル：SEDPNR モデル／偽・誤情報をめぐる規範的リスク分析：AEP/
EPTV モデル

3. おわりに 153

第6章 サービス提供をめぐる個人情報に係る法益・ リスクとプラットフォーム事業者の法的責任の構成

[新屋敷恵美子] 155

1. はじめに 155

労働法規制の PF に係る規制の意義／二つの課題／本章における考察・順序

2. イギリスにおける位置づけと根拠 163

代位責任の位置づけと意義／委譲できない義務／小 括

3. 「使用者」に対する責任としての構成 169
2000年代以降の代位責任の展開／広がり／と限界／小 括
4. 先行する関係性についての責任としての構成 176
委譲できない義務の位置づけと基準／「場」を設定する者の委譲できない義務
5. おわりに：不法行為法による救済の可能性と限界 185
伝統的な雇用を基礎とした責任の限界／場の設定者・管理者についての責任の可能性／不法行為法の領域のみでの対応可能性

第Ⅲ部

プラットフォームを通じた法の変容

第7章 デジタルプラットフォーム規整の思想的背景 ——分散型調整秩序とオルド自由主義——

[赤坂幸一] 188

1. 訃音忽至 188
2. プラットフォーム規整の視座転換 191
専門知に基づく政策立案への寄与／漸進的進化とデジタル市場の特質／ルール設定者としてのデジタルプラットフォーム
3. 分散型調整秩序と私法 200
競争を通じたDPF運用ルールの革新／分散型調整秩序の基盤としての私法／オルド自由主義の系譜：自由の法秩序
4. 日本法への示唆 206

第8章 プラットフォームを通じた紛争解決

[上田竹志] 208

1. はじめに：問題の概観 208
民事紛争解決をめぐる近時の状況／DP上の紛争に関する基本的枠組み

2. 紛争解決の諸局面における可能性と課題 217

紛争の発生から解決まで／紛争認知／検討（情報収集）／相談以降／権利
実現

3. おわりに 242

第9章 「旧い中世」の多元的法秩序

——プラットフォームが台頭する現代は「新しい中世」か——

[川島 翔] 244

1. はじめに 244

2. 中世における多元的法秩序 246

多様な法と裁判権／カノン法の多様性／統治の多元性

3. ユス・コムーネ 251

ヨーロッパ共通の伝統としてのユス・コムーネ／ユス・コムーネの相対
性／ユス・コムーネの統一性

4. レクス・メルカトリア 256

レクス・メルカトリア神話／レクス・メルカトリアの実態

5. おわりに 262